

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ（東地区）	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	施設分類	子育て支援施設
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	利用料金制導入	なし（指定管理料のみ）
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により、昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る。		
施設概要	福岡・第2福岡・第3福岡放課後児童クラブ（定員120名、延床面積391.5㎡）、駒西放課後児童クラブ（定員70名、延床面積192.53㎡）、第2駒西・第3駒西放課後児童クラブ（定員80名、延床面積237.66㎡）、上野台・第2上野台放課後児童クラブ（定員120名、延床面積311.36㎡）、第3上野台・第4上野台放課後児童クラブ（定員80名、延床面積279.88㎡）西放課後児童クラブ（定員80名、延床面積206.9㎡）、第2西放課後児童クラブ（定員70名、延床面積220.27㎡）、元福放課後児童クラブ（定員70名、延床面積177.26㎡）、さぎの森放課後児童クラブ（定員66名、延床面積170.79㎡）		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

評価項目

- 【評価基準】 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	保護者が昼間就労等により家庭にいない児童に適切な生活や遊びの場を提供し、法人が提案した運営方針に基づいて運営を行った。Wi-Fi環境の維持整備に加え、各種情報配信や保護者との連絡帳のやり取り、登降室の確認をそれぞれ電子で行うことができる機能を備えたアプリケーションを活用することによるサービス拡充のための取組を実施した。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
児童の健全育成	・法人の学童保育事業本部が全国の学童現場のために企画した遊びツールを活用し、SDGsを遊びながら学んだり季節の伝統行事を体感したりさせることができた。 ・令和元年度以来6年ぶりに東地区全施設合同の親子バス遠足を実施し、いちご狩り等の非日常体験をさせることができた。	
保育の質の向上	・法人独自の動画研修ツールを活用することや、県等が主催する研修会へ積極的に参加することで職員の教育を促進した。 ・法人内のキッズサポートチームや県の巡回支援(アドバイザー)派遣事業を活用することで、配慮を必要とする児童及び職員のサポートを充実させることができた。	
利便性の向上	・Wi-Fi環境を完備し、小学校のタブレット学習が児童クラブでも行うことができた。 ・情報配信機能、各種おたより配信や連絡帳機能、児童の登降室確認機能を備えたアプリケーションを活用した。令和6年度より毎月発行のクラブだよりを電子化し、より多くの家庭で見やすい環境を整えた。 ・小学校の長期休業期間中の保護者負担軽減のための自主事業である注文弁当サービスは令和6年度も全平日(弁当業者休業日は除く)を利用可能とした。 ・トランシーバーやワイヤレスインターホンを試験的に導入し、児童クラブの来室者対応の利便性を向上させた。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率・現預金残高は良好。前期に引き続き、売上高、利益ともに順調に推移。	3
その他特記事項		

3 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等		予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位		対前年比	年度目標達成率	評価
	月平均在籍児童数		756 人	824 人		107.7%	109.0%	
	(特記事項) 昨年度利用実績：765人 予定人数は、令和6年度放課後児童クラブ定員数							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	・施設の運営に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること ・意見・要望への対応 ・運営改善の取組に関すること ・児童の保育及び健全育成に関すること ・その他指定管理に関する業務			追加事業			
					未実施事業			
	自主事業	・長期休み（夏休み・冬休み・春休み）の一時保育 ・延長保育 ・注文弁当サービス ・親子バス遠足						
利用サービス向上の取組		・学校の長期休業期間や振替休日等における一日保育の朝延長保育（午前7時30分～午前8時）を無償とする他、夕方延長保育（午後6時30分～午後7時）を1回200円で実施することにより児童の預け先に苦慮している保護者のニーズに対応した。 ・夏季・冬季・春季の長期休業期間において登録児童数が定員に達していない児童クラブを対象に一時保育を実施することで児童の預け先に苦慮している保護者のニーズに対応した。 ・情報配信機能や連絡帳機能、登降室確認機能を備えたアプリケーションを活用し保護者の利便性向上を図った。 ・長期休業期間の全平日（弁当業者休業日は除く）に注文弁当サービスを実施し保護者のお弁当作りの負担軽減を図った。						

3

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート、ご意見ボックス、個人面談	3
	(2) 調査、会議等の内容 1. 利用者アンケート 【実施時期】令和6年12月2日～12月13日 【調査方法】放課後児童クラブ利用保護者に対し、LoGoフォームにてWEBアンケートを実施 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧保育行事⑨遊具・施設⑩(1)おやつの内容(2)おやつ(3)おやつ(4)提供時間⑪利用時間⑫総合的な印象 2. ご意見ボックス 【実施時期】年間通して実施 【調査方法】各児童クラブの玄関に用紙と箱を設置し、意見や要望のある方が記入し投函する。 3. 個人面談 【実施時期】1学期及び2学期にそれぞれ2週間程度の期間を設けて実施 【調査方法】希望された保護者から、面談時に話を伺う。	
	(3) 調査、会議等の結果 1. 利用者アンケート 配布数：664世帯 回答数：289世帯 回答率：43.5% ・回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査した結果、各項目とも「満足」～「普通」は93.0%以上となっている。 ・⑫「総合的印象」は、「満足」「やや満足」が85.5%、「ふつう」を含めると97.6%であった。 2. ご意見ボックス 年間を通じて、利用者のご意見ボックスを使用しての意見や要望はなかった。（対面、連絡帳、電話での対応はあり。） 3. 個人面談 保護者が希望した日時で概ね5分～20分間実施。児童同士の関係性の見守りや児童クラブでの小学校の宿題の取り組みについての話等を伺った。	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・欠席連絡を忘れても丁寧に対応してくださる。 ・支援員の方は皆さん、熱心に子どもたちと関わってくださっていると思います。また、年齢層や性格も様々で、色々な得意分野(外遊び・折り紙・手芸等)を持たれていらっしゃるの、千差万別の子ども達も、どなたか関わりやすい人が見つかるのではないかと思います。 ・先生方が優しく声をかけて下さるので疲れている日も、お迎えの瞬間ほっと笑顔になれます。	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ①もっとアプリで報告して欲しい。 ②宿題ができない時がある。 ③外遊びがしたいが実施できる日が少ない。 《対応措置》 ①家庭からの連絡を受けるのみでなく支援員からの情報発信(その日の出来事等)に取り組むよう心掛けた。 ②各施設で宿題やタブレット学習に取り組む時間帯や場所を可能な限り工夫した。 ③特に夏季は熱中症対策の為外遊びの実施が難しかったが、施設内で体を動かして遊べる時間を設けたり、小学校の体育館を借用することで外遊びに代わる機会を設けた。	

5 事業収支

(単位：円)

	指定管理者収支（ 令和6年度 ）				市の収支				評価			
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算（前年度）		
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額	
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料	73,678,500	施設使用料	68,071,000		
		事業収入	0	事業収入	0		行政財産使用料	0	行政財産使用料	0		
		指定管理料	182,384,000	指定管理料	201,042,530		国庫支出金	42,423,000	国庫支出金	42,141,500		
		雑入	0	雑入	0		県支出金	42,423,000	県支出金	42,564,000		
		自主事業からの充当	19,000	自主事業からの充当	0		その他	479,616	その他	1,608,789		
		計	182,403,000	計	201,042,530		計	159,004,116	計	154,385,289		
	支出	人件費	148,315,000	人件費	166,174,937	歳出	修繕料	415,272	修繕料	0		
		消耗品費	4,900,000	消耗品費	4,969,284		保険料	144,105	保険料	137,988		
		光熱費	4,994,000	光熱費	5,608,237		指定管理料	201,042,530	指定管理料	192,520,293		
		委託料	1,110,000	委託料	1,255,913		業務委託料	0	業務委託料	545,160		
		賃借料	2,840,000	賃借料	2,621,839		土地・建物賃借料	832,664	土地・建物賃借料	832,664		
		通信費	1,250,000	通信費	1,757,980		その他	8,095,865	その他	1,405,324		
		保険料	1,018,000	保険料	876,149							
		修繕費	550,000	修繕費	553,292							
		事業費（市指定事業）	4,230,000	事業費（市指定事業）	3,555,420							
		一般管理費（本社経費等）	13,196,000	一般管理費（本社経費等）	6,550,000							
		計	182,403,000	計	193,923,051		計	210,530,436	計	195,441,429		
		収支	0		7,119,479		差引	△ 51,526,320		△ 41,056,140		
		②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0		支出	0				
③最終収支（①－②）	収支	0		7,119,479								
●自主事業収支	自主事業収支	収入	2,567,850	収入	4,251,740							
		支出	2,529,747	支出	2,626,940							
		自主事業収支	38,103	自主事業収支	1,624,800							
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								85.7%			
	事業収支における経営分析			指定管理料については、児童数増加に伴う支援単位数の増加及び加配児童数の増加に伴う加配職員の増加に係る人件費を支払ったため、計画額を上回った。支出については、下述する一般管理費の削減により黒字経営を実施することができた。								
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			計画時は、約10%弱の一般管理費を見込んで計上していたが、全国で子育て支援施設の指定管理者業務を受託しているスケールメリットを活かし、会議や研修等の本社業務の効率化を図ったことにより、支出額を抑えた。								

6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置。各施設に2人以上の常勤放課後児童支援員を配置。そのうち1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長として配置。設備運営基準条例第8上第3項各号に定める資格を有する者かつ常勤の者を、各支援単位につき1人以上配置。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項				

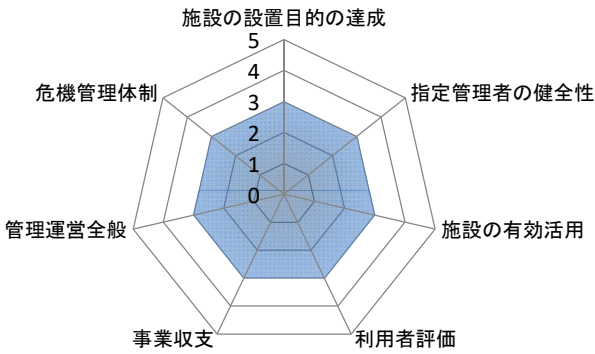
7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

総合評価	評価項目	評価	総合評価		子育て支援施設
	施設の設置目的の達成	3	C		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	3			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			

評価理由	・情報共有等の連携を徹底し、日々の管理運営業務を円滑に行うことができたため。 ・利用者のニーズを満たすための自主事業を複数実施し、サービスの向上に繋がったため。 ・利用者アンケートにおいて、総合印象評価における「満足」と「やや満足」の合計が85.5%の高水準であることから、利用者からの支持を得られていることが分かるため。
------	---

取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	①各児童クラブ内での報連相の徹底 ②事務局及び営業所間の連携強化 ③担当課との密な情報共有 ④所長、副所長内の中心（リーダー）職員の育成、既存の職員の資質向上 ⑤保護者ニーズ等、現状に合った形での保護者懇談会の実施	①各種会議や業務メールの内容を各児童クラブの日々のミーティングで報連相を行った。 ②法人全体の通達事項等を事務局を介して各児童クラブへ説明、共有した。 ③担当課と児童の様子やクラブ運営について適宜情報共有し対応に努めた。 ④所長だけでなく副所長や常勤支援員を中心に、各児童クラブの事例を持ち寄り検討する会議を定期的に設けることで運営の中心としての自覚を育んだ。 ⑤令和6年度は保護者懇談会という形ではなく、各家庭の都合に合わせた個人面談を2回実施した。	①各児童クラブ、事務局、営業所の連携及び報連相の精度を今以上に高めることで保育の内容や質の差がより少なくなるよう努める。 ②会議や研修の質を高めることで支援員としてのスキルの向上を図ると共に、所属の児童クラブの枠を越えて東地区全体の底上げに努める。

指定管理者自己評価
(1) 評価期間の取組に対する評価 ①サービス向上に向けての取組 ・緊急時の情報発信機能や連絡帳機能、児童の登降室時刻の確認機能を備えたアプリケーションである「hugnote(ハグノート)」を活用し利便性の向上と児童の安全確保に努めた。令和6年度より毎月発行のクラブだよりも電子化してハグノートで配信した。 ・長期休暇中の保護者のお弁当作りの負担軽減の為に注文弁当を実施した。令和5年度に引き続き令和6年度も週5日(全平日)の実施とし年間通して計6,913食の利用があった。 ・業者によるエアコン洗浄及び保育室の床のワックス掛けを実施し、児童が安全、快適に過ごすことが出来る室内環境の整備に努めた。 ②業務の効率化に対する取組 ・各児童クラブに社用携帯(スマートフォン)及び社用パソコンを貸与すると共に、ネット環境も整備した上でメール等による児童クラブ及び事務局間での日頃の連絡、共有を密にした。毎日の登室児童数や出勤職員数、体調不良の有無等についてもメールで随時共有することで、適切な運営体制を整えた。 ・備品及びおやつ等の購入は基本的に業者発注とすることで職員自身が購入することによる時間や労力を最小限に抑えた。 ・トランシーバーやワイヤレスインターホンを試験的に導入したことで職員間の情報共有の効率が向上した。 ③その他 ・夏季の熱中症対策として、各クラブに経口補水液や塩分タブレット等を常備し、「熱中症警戒アラートメール」「熱中症予防情報メール」を登録することで毎日の暑さ指数等を予測、加えて熱中症指数チェッカーで外遊びの実施可否の判断材料とした。 ・令和5年度に引き続き上福岡七夕まつりの竹飾りコンクールへ出展し地域との連携を深めた。 ・東地区全施設合同の親子バス遠足を実施、親子合わせて210名の参加があり、むさしの村でのいちご狩りや園内遊覧を楽しむことができた。 (2) 管理業務実施上の課題 ・登録児童数増加に伴う環境整備 ・職員の資質向上 ・東地区全体の統一事項やルールの報連相が徹底しきれていないことによるトラブル、保育の質の差異 (3) 次年度以降の取組 ・日々の保育や運営に係る課題を各児童クラブ、事務局、営業所及び担当課で連携して解決に努める。 ・会議及び研修の質を向上させることで職員の育成を強化する。 ・事務局及び営業所による巡回を定期的の実施することで各児童クラブにおける統一事項やルールの報連相の徹底度の確認に努める。